

情報通信に関する講演会

演題 「クマ出没問題から考える地域の未来」

講演概要

近年深刻化しているクマの出没は、人口減少や里山管理の衰退、気候変動などが複合した地域課題であり、ICTの活用による解決が期待されています。

講演では、まずクマ問題の背景として、東北地方におけるツキノワグマの生息状況と、個体数等の調査方法、保護管理に関する施策の変遷について解説します。その次に、ICTによる野生動物対策の可能性と問題点を示し、そこから考えられる人口減少地域の持続可能な街づくりについてお話します。

講師略歴

1977年3月 東北大学理学部卒業

1979年3月 東北大学大学院理学研究科博士前期課程修了

1983年3月 東北大学大学院理学研究科博士後期課程修了
理学博士号 取得

1983年4月 山形大学医学部 助手

1989年4月 石巻専修大学工学部 助教授

2003年4月 山形大学理学部 教授

2013年4月 山形大学理学部長

2015年4月 山形大学学術研究院 教授

2016年4月 山形大学小白川キャンパス長

2020年4月 山形大学 学長

2026年3月 山形大学学長を退任



山形大学前学長

玉手 英利 氏

令和8年5月21日（木）

講演時間：16時00分から16時50分まで

開催場所：江陽グランドホテル 4階「銀河の間」

※オンライン（Zoomウェビナー）にて同時配信！

事前申込みが必要です。（5月14日（木）17時00分まで）

お申込みは、2次元コードまたは、URLから

<https://forms.office.com/r/7KwV0ANQUW>

（※会場・オンライン申込兼用）

